

研修3 年間指導計画を見直す

○研修のねらい

「研修3」では、「年間指導計画の見直しのポイント」を踏まえ、現有する年間指導計画を三つの「見直す視点」を基に見直します。特に平成30・31年度の移行期間においては、前年度に作成した年間指導計画を学校の実態に即して総合的に見直す必要があります。ここでは、自校の年間指導計画を見直し、次年度の年間指導計画を作成することを目指しています。

年間指導計画の見直しのポイント

○年間指導計画を見直すには

- ・学校の教育課程・教育活動全体計画に基づいて、第3・4学年、第5・6学年の2年間を通して、外国語活動・外国語科の目標の実現を図るようにしてあるか。
- ・学校の教育目標や児童、地域の実態に即して作成しているか。等を確認します。

○年間指導計画の中の単元指導計画を作成・見直すためには

他教科と同じく、教師が意図やねらいをもって単元や題材等内容や時間の「まとまり」を生み出すことが大切です。その際、他教科・領域、学校・地域行事や児童の実態等に応じて見直しや修正をします。さらに、単元のまとめとして、児童が英語の表現を学びたいという思いを高めるためのコミュニケーション活動を設定するようにします。そのために、その活動で、どのような表現を使ってコミュニケーションを行うか考えておきます。「本時は何をするか」、「本時の学びは単元のまとめのどこにつながるのか」等、児童が目的意識をもって学習に臨むことができるように留意して計画します。

また、文部科学省の新教材「We Can!」等を参考にしながら、学校としてどの単元を何時間行うか等を考え、移行措置の内容を必ず実施できるように計画します。

見直す視点① 学校・地域行事との関連

児童の学習意欲を高めるためには、目的意識や相手意識をもたせることが重要です。外国語活動・外国語科の年間指導計画に、学校や地域の行事や、人材等を取り入れることができないかを考えます。

<学校行事や地域行事との関連を意図した活動例>

- ・いろいろなクイズを英語で楽しむ + 6年生を送る会
→「英語クイズ大会を開き、6年生に喜んでもらおう」
- ・英語で物の名前を表し、お店屋さんごっこをする + 低学年との交流
→「1年生をお店屋さんへ招待しよう」
- ・自己紹介・英語ゲームで楽しむ + 幼稚園・保育園との交流
→「○○幼稚園の△△組のみんなに英語を教えよう」

見直す視点② 他教科等との関連

児童が外国語そのものに意識を向けることができるようにするために、他教科等で学習した内容と関連付けることが大切です。また、指導時数の増加に伴い、外国語活動・外国語科だけでなく、小学校の教育課程全体を見通したカリキュラム・マネジメントが必要です。

そのために、教師はまず、一年間の各教科等の年間指導計画を俯瞰して、他教科等の結び付きを意識することから始めます。単元の目標や学習内容を把握し、学習内容が関連する他教科等の学習との時期を調整します。単元の入れ替えが難しい場合は、他教科等の学習の時間に外国語活動・外国語科で学習したことを想起させるなど、関連付けることも有効です。

<他教科等との関連を意図した活動例>

- ・英語劇を発表しよう → 国語科 物語文 等
- ・英語の歌を歌おう → 音楽科 世界の歌 等
- ・この色の名前は… → 図画工作科 様々な色 等
- ・行きたい場所を紹介しよう → 社会科 「世界遺産を調べよう」 等
- ・ランチメニューを考えよう → 家庭科 「家族のために食事を作ろう」 等
- ・自己紹介 → 特別活動 「クラス開き・自己紹介をしよう」 等

見直す視点③ 児童が必然性をもって外国語活動・外国語科に取り組む場面の設定

年間指導計画を見直す際は、「学校・地域行事との関連」と「他教科等との関連」を別々に行うのではなく、同時に行うことが効率的です。また、現有の年間指導計画で教科横断的に学ぶ単元がある場合、そこに外国語活動・外国語科を組み込むことができないうか検討することも大切です。

<活動例>

「わたしの行ってみたい国を紹介しよう ～オリンピック・パラリンピックに向けて～」

単元のまとめの活動を設定する	活動の目的を明確にする
・オリンピック・パラリンピックのスポーツを紹介し合う。	・オリンピック・パラリンピックの競技種目をクラスの友達とより楽しむために
・行ってみたい国を紹介する。	・オリンピック・パラリンピックの参加国について理解するために
・ランチメニューを考える。	・自分が気に入った国の料理を調べ、友達や保護者に献立を提案するために
・行ってみたい国を紹介し合う。	・今までの学習を踏まえ、友達に自分の行ってみたい国を紹介するために

研修3 年間指導計画を見直す

○事前に準備する物

- ・各学年の各教科等の年間指導計画一覧
(既存の物。各教科等の計画が1枚にまとめられているものが望ましい。)
- ・外国語活動・外国語科の年間指導計画
- ・研修3「解説編」(P26、27) ・演習シート (P84、85)

○研修の留意点

- ・作業しやすいグループを作ること。
- ・演習時は、次年度の年間指導計画を立てることを想定すること。

○研修例 (45分)

時間	研修項目	研修内容	使用する物
5分	○年間指導計画の見直しのポイントについて理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォームアップを行う。 ○本研修のねらいを確認する。 ○年間指導計画の見直しのポイントについて説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を見直す視点について、必要に応じて研修2を基に振り返るようにする。 ○見直す視点①～③について説明する。 ・各教科等の年間指導計画を見渡し、関連付けている内容を例示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本書P26、27
30分	○年間指導計画の見直しのポイントを基に、実際の年間指導計画を見直すこと。	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等の各学年の年間指導計画や外国語活動・外国語科の年間指導計画を見渡し、関連付けられる内容を線で結んだり、書き込んだりする時間を設ける。 (グループ活動：10分) <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科等 ・○○小まつり ・学習発表会 ・ふれあい給食 ・国際交流 ・幼稚園交流 ・清掃ボランティア 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の年間指導計画一覧 ・外国語活動・外国語科の年間指導計画 ・演習シート P84、85

		<p>○関連付けた内容を演習シートに整理し、外国語活動・外国語科の単元づくりをする。 (個人活動：10分)</p> <p>○作成した単元について、作成意図や修正案等を共有する。 (グループ活動：10分)</p> <p>【見直しのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科等、地域の活動・施設、児童の実態等 	
10分	○研修内容を振り返ること。	○気付いたこと等を共有する。	

外国語に触れる機会を作ろう

コラム

授業の他にも、ALT と時間の調整を行い、児童と一緒に給食を食べる機会や休み時間を利用して、話をしたりゲームをしたりする機会を設けて、外国語や外国の文化と触れ合う場をつくることが考えられます。

学校外では、英語を用いた活動や異文化体験のために、外国人と児童・生徒による「サマーキャンプ」や「イングリッシュキャンプ」というような、独自の取組を進めている区市町村もあります。

東京都の取組としては、「TOKYO GLOBAL GATEWAY」が平成30年度から江東区青海にオープンする予定です。ここでは、英語を使用して、我が国の伝統・文化や異文化を体験・理解したり、英語を用いた生活や社会活動を疑似的に体験したりできる、体験的・実践的な教育プログラムを児童・生徒に提供します。

※「TOKYO GLOBAL GATEWAY」<https://tokyo-global-gateway.com/>

児童の外国語や国際理解等、主体的にコミュニケーションを図る資質・能力を高めていくために、東京都や区市町村の取組を活用します。

